

工場からのお知らせ ～第4ブロック～

杉

並清掃工場

廃プラスチックサーマルリサイクルに関するパネル展開催中

平成20年度からの廃プラスチックサーマルリサイクルの本格実施に向け、杉並区では10月から区内2地区でモデル収集が行われています。当工場では、サーマルリサイクルについて住民にPRするため、8月21日から9月20日まで工場の玄関ロビーでパネル展を開催し、多くの見学者にご覧いただきました。

今後は、廃プラスチック混合可燃ごみの焼却処理を行うにあたり、施設の安全性や環境への影響等について、実証確認による検証を行い、その結果を公表していきます。



豊

島清掃工場

豊島区の「しあわせの赤い風呂敷」を展示しています



工場のある豊島区は、23区で唯一、集積所で「8品目12分別の資源回収」を実施し、ごみ減量に大きな成果をあげています。

この度、豊島区と連携し、工場の4階ホールに、「豊島にぎわい創出機構」（豊島区と地元商店街等の共同出資）が作成した「しあわせの赤い風呂敷」を展示しました。この風呂敷は、ペットボトル再生繊維100%の赤い生地に、風呂敷のいろいろな包み方がデザインされたとてもお洒落なもので、見学者の方にも、“目に見えるリサイクル”として好評です。なお、展示パネルは、当工場の整備係職員が廃材料を利用し製作しました。

板

橋清掃工場

恒例の集団献血を実施

社会貢献と職員の健康管理を目的に毎年オーバーホールの時期に行う集団献血ですが、今年はお盆明け、暑い盛りの8月17日（木）に実施しました。

当日は、近隣の住民の方14人と板橋東清掃事務所、光が丘清掃工場の職員などの協力により、合計16,000ml（牛乳ビン80本分）の血液を提供することができました。地域に定着する事業として来年も実施いたします。

練

馬清掃工場

第13回運営協議会を開催しました

去る7月13日、地域住民の代表の方などを含めた「第13回練馬清掃工場運営協議会」を開催しました。

今回は、平成18年1月から6月までの工場の操業状況、公害防止に関する調査結果、また、「廃プラスチックのサーマルリサイクル」、平成22年度から予定されている「練馬清掃工場の建替え計画」等の報告を行いました。建替え計画の準備段階として、環境現況調査が9月から始められる予定です。

光

が丘清掃工場

この夏、「ひょうたん」がなっています

当工場は、緑豊かな大規模住宅団地のほぼ中央に位置しております。そこで、工場周辺との調和を保つために、日頃から職員は、花の種を蒔き、苗を植えて、季節ごとに花を咲かせております。そのことにより来場者の方々にも楽しんでいただいております。

ところで、職員が春過ぎに、手元にあった何かの種をまいたところ、何と愛嬌たっぷりの「ひょうたん」になりました。

